

なぜあのグローバル企業は 内製コンテンツの価値を 最大化できたのか？

企画力と講師力で組織を変革する
クインテグラルのソリューション

クインテ
テグラル

■ 本日の内容

1. **なぜ、グローバル共通研修の「ローカライズ」が重要なのか？**
2. 企画と講師の力で「研修効果」を最大化するクインテグラルのソリューション
3. 事例紹介：「内製プログラム」活用
4. 事例紹介：「行動規範」の浸透

グローバル共通研修の意義

単なるスキル習得を超え、企業文化の統一や異文化理解の促進、
グローバルな視点の育成が目的となっている



グローバル共通研修実施時の課題

グローバル本社が企画したプログラムをそのまま実施することができず、
各国のグローバル拠点は扱いに困っている

グローバル本社から、共通の研修プログラムが降ってきた
このプログラムを日本でどう活用すればいいか？

グローバル本社のプログラムは素晴らしいが、
日本の文化や商習慣、受講者の特性に合わない部分がある

形式的な研修になってしまい、現場の行動変容につながらない

グローバル共通研修を「ローカライズ」する意義

ただ単に翻訳するのではなく、各拠点の課題を明らかにしたうえで、プログラムを効果のあるものに変換し、お届けしなければならない

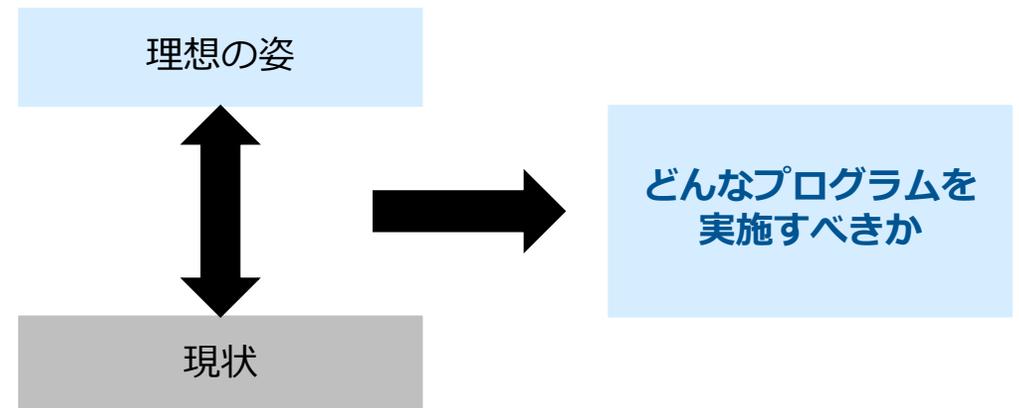


英語などのグローバル共通言語から
日本語などの現地語に翻訳すればOK

A → あ



言語ももちろんだが、
効果のあるプログラムに変換する



■ 本日の内容

1. なぜ、グローバル共通研修の「ローカライズ」が重要なのか？
- 2. 企画と講師の力で「研修効果」を最大化するクインテグラルのソリューション**
3. 事例紹介：「内製プログラム」活用
4. 事例紹介：「行動規範」の浸透

■ クインテグラルのソリューションのポイント

「企画力」 「講師力」 の2点が成果をわける

企画力

単に研修を設計することではなく、
目標を定め、現状を踏まえたうえで
プログラムを作成し、実行できる

講師力

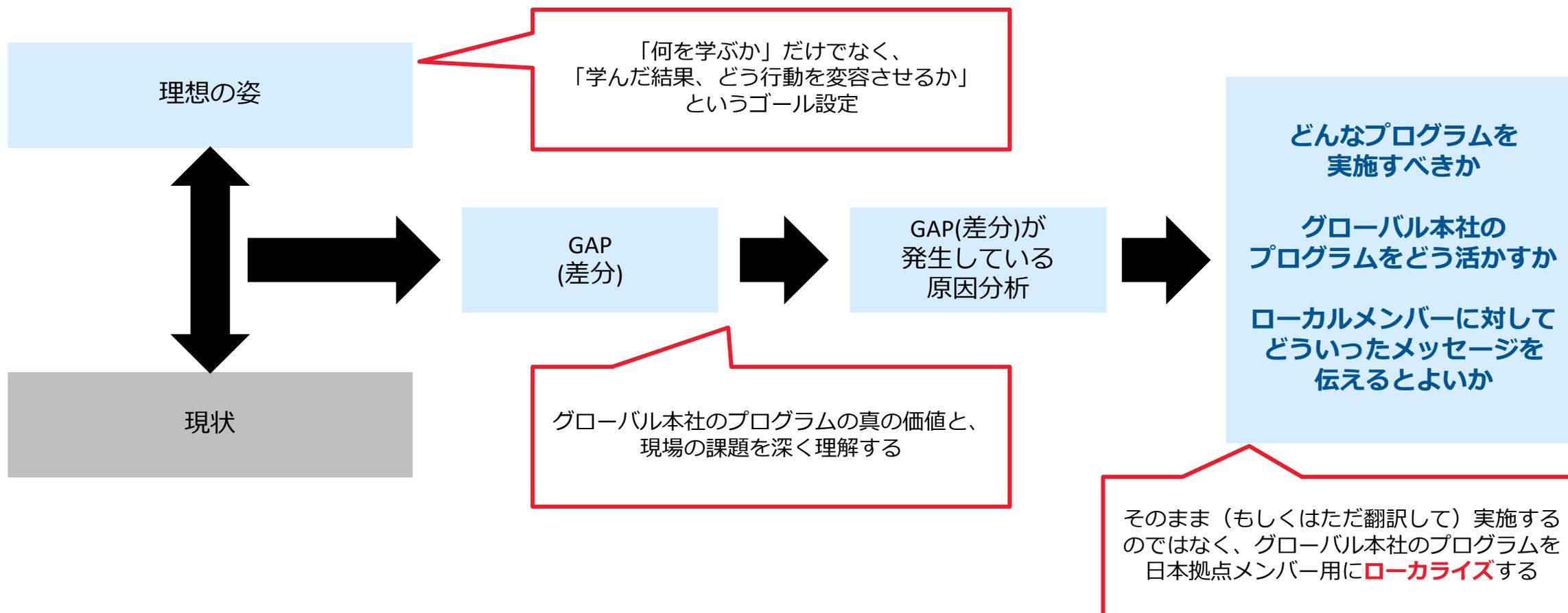
プログラムを理解するだけでなく、
その背景にある「意図」をくみ取る力を持ち、
それを元にプログラムをデリバリーできる

クインテグラルの「企画力」

企画力

講師力

単に研修を設計することではなく、目標設定を行い、現状分析を経て、“ローカライズ”することが重要



質の高いファシリテーションで 多様な文化背景を持つ受講者に対応し、議論を活性化させる



オープンクエスチョンを使う (What・Why・How)

- 全体に問いかけて考える時間を与えたり、個人に投げかけて答えを引き出したりする
- 参加者からの質問はクラス全体に投げ返して、参加を促す



ペアやグループでの 対話を取り入れる

ペアや少人数で意見交換することで、安心して発言しやすくなり、対話が活性化する



ストーリーテリングを活用する

自身の経験や職場での事例を短く語り学びに実感と共感を与える



クイック投票や挙手で 意見を可視化する

クイック投票や挙手で意見や理解度を確認し、場の一体感と活気を高める



発言やファシリテーションの 機会を回す

発言やグループワークの進行役を交代で担当させることで、全員の積極的な関与を促す

■ 本日の内容

1. なぜ、グローバル共通研修の「ローカライズ」が重要なのか？
2. 企画と講師の力で「研修効果」を最大化するクインテグラルのソリューション
- 3. 事例紹介：「内製プログラム」活用**
4. 事例紹介：「行動規範」の浸透

外資系製造業A社-内製プログラムの活用-

次世代の管理職育成を本社が企画し、
日本支社でもそのプログラムを実施することとなった

背景

- 将来の管理職候補者に対する研修を実施しており、そのポジションの業務を全うするために必要なコンピテンスを身に着ける機会として提供している
- グローバルにおける自社を取り巻く環境の変化および受講生の要望を取り入れ、グローバル本社にてプログラムを刷新した
- 全世界の本社・支社にて同様の研修内容を提供し、共通したリーダーシップを理解することに意義があるため、グローバル本社作成のプログラムに沿って、研修実施することとなり、このプログラムをデリバリーできるパートナーを探していた



外資系製造業A社-内製プログラムの活用-/背景情報

グローバル本社のプログラムをそのまま実施しても
効果のある施策を実施できるとは思えない



■ 外資系製造業A社-内製プログラムの活用-/施策のポイントと成果

本社のプログラムにクインテグラルが「ブリッジング」「講師」「継続支援」の付加価値を提供してデリバリーした



施策のポイント



成果



ブリッジング

既存コンテンツに日本市場に即した事例やワークを加え、受講者が「自分事」として捉えられるようにした具体的な工夫を解説

講師の専門性

両者の文化や課題を深く理解しているグローバル企業でのマネジメント経験、日本のコンサルティング実績のある講師をアサイン

継続的な伴走

研修後も、受講者の行動変容を促すためのフォローアップ体制や講師とクライアント間の密な連携体制を構築

グローバル共通リーダーシップの「日本での定着化」

グローバルで統一されたリーダーシップ像を腹落ちさせることができ、本社が目指すリーダーの行動規範が、日本法人にも一貫性をもって浸透した

将来の管理職候補者の「実践的な能力向上」

講師のファシリテーションによって、現場での複雑な課題解決や多国籍なチームを率いるために必要な実践的なコンピテンシー（能力）を習得できた

内製コンテンツの「費用対効果の最大化」

グローバルコンテンツという質の高い資産に対し、研修投資の効果を最大化できた

■ 本日の内容

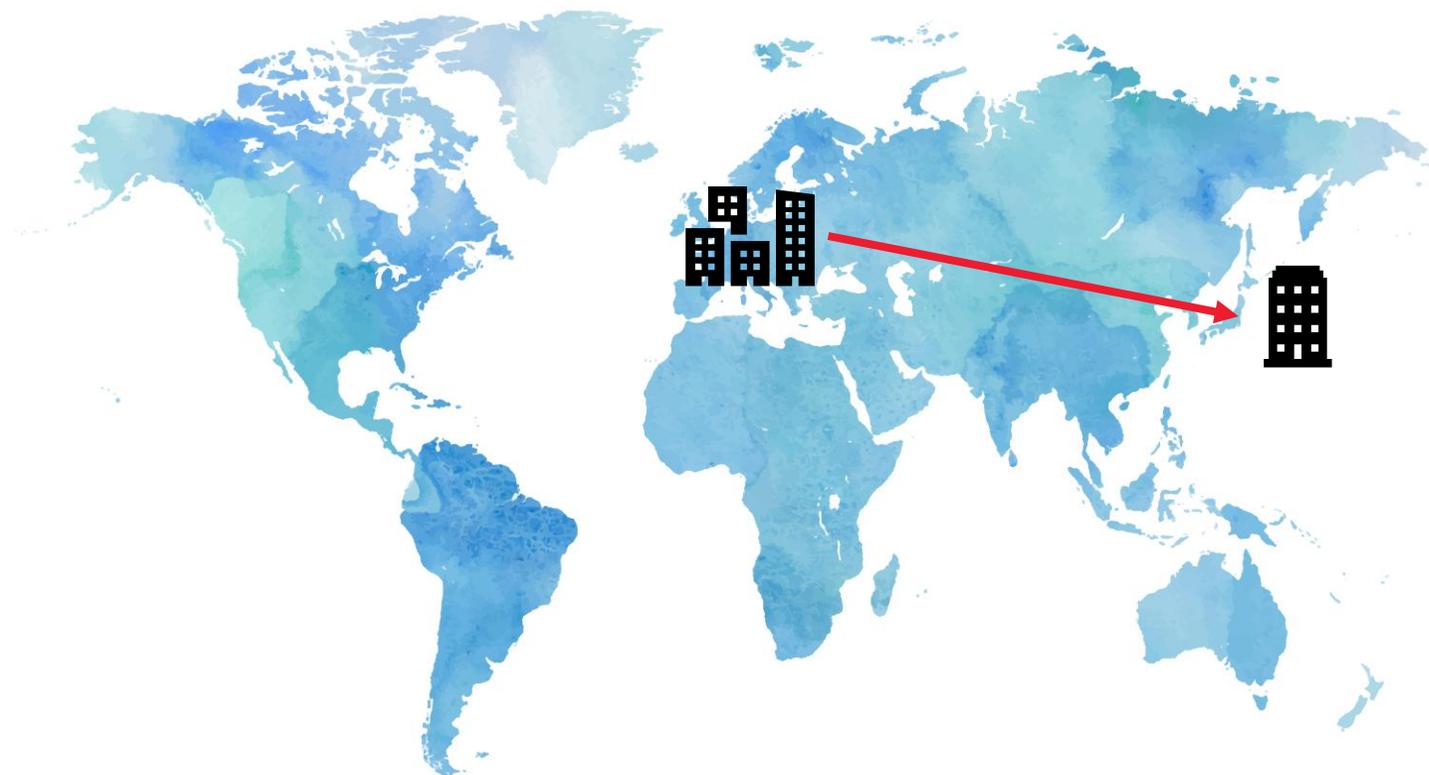
1. なぜ、グローバル共通研修の「ローカライズ」が重要なのか？
2. 企画と講師の力で「研修効果」を最大化するクインテグラルのソリューション
3. 事例紹介：「内製プログラム」活用
4. **事例紹介：「行動規範」の浸透**

外資系製造小売業B社-行動規範の浸透-

本社で新しく定義された「行動規範」を管理職層に浸透させる必要があった

背景

- マネージャーに新しく定義された社名も冠につくほど重視している「行動規範」を浸透させなければいけなかった
- 本社で定義されたものの世界に点在している支社における浸透施策は各支社に任されているため、ほとんどゼロから企画しなければならず、どこからどう手を付ければいいのか悩んでいた



外資系製造小売業B社-行動規範の浸透-/背景情報

本社が策定した行動規範を日本支社でも浸透させるにあたり
課題が山積していた



外資系製造小売業B社-行動規範の浸透-/施策のポイントと成果

行動へ落としし込むためにメンバーの置かれている立場に合わせたプログラムを用意し、デリバリーした



施策のポイント



成果



「行動」への落とし込み

行動規範がマネージャーにとって何を意味し、現在の状況でどのように適用すべきかを議論し、理解させることに重点を置いた

実践的なアプローチ

アダルトラーニング（成人学習）の手法に基づき、講義、ディスカッション、演習を組み合わせることで、参加者が自律的に学び、実践できる構成にした

役割に応じた構成

ディレクターは自チームの弱点を特定し、マネージャーはマネージャーとしての期待や役割を理解することに焦点を当てた

体系的なモジュール

5つの主要なモジュール（「Building the Team」「Problem Solving」「Collaborating」「Leading the Team」「Innovation」）に分類し、スキルセットと紐づけることで、体系的に学べるようにした

行動規範に基づいた行動の定着

漠然と行動するのではなく、策定された行動規範に基づいた行動の選定、定着がなされた

自社の理念・価値観を反映したマネジメントの体現

自社の理念・価値観（WAY）が反映されたマネジメントを管理職が体現できるようになった

組織パフォーマンスの向上と一貫性の確保

マネージャー間でビジネスに対する一貫した見解が共有され、部門を超えた連携がスムーズになり、組織全体のパフォーマンスが向上した

クインテグラル株式会社 会社概要

AMAが有する160以上の研修プログラムを活用して、グローバルビジネス環境の中で個人の能力を向上する機会を提供し、様々な企業のグローバル戦略を実現できる人材づくりを支援しています

クインテグラル株式会社

クインテグラルは100年の歴史を持つAMAのサービスを国内で唯一提供する人材育成サービスプロバイダーです。リーダーシップ、マネジメント、コミュニケーション、営業、マーケティングなど多岐にわたるカテゴリーにおいて研修サービスをご提供しており、世界で活躍する人材の育成を支援しています。

AMA

(American Management Association)

AMAは1923年、企業の成長に必要な“マネジメント”や“リーダーシップ”能力をどうすれば効果的に教育できるか？といった実務家たちの熱い思いから誕生した世界最大のグローバル人材育成コンサルティング組織です。一般管理職からビジネスエグゼクティブに対して幅広くサービスを提供しています。

アメリカのTraining Magazineが選ぶ
リーダーシップ開発トレーニング会社
トップの1社として選出



豊富な経験と確かな実績

10 MILLION

Learners educated within the past decade

92%

Fortune 1000 companies are AMA customers

98%

Participants report they are using what they learned

1,000

Global network of expert faculty trainers

グローバルネットワーク

AMA GLOBAL
American Management Association



Atlanta · Arlington · Bangkok · Beijing · Brussels · Chicago · Guangzhou · Ho Chi Minh City · Jakarta · Kuala Lumpur · Manila · Mexico City · New York · Riyadh · San Francisco · Shanghai · Shenzhen · Singapore · Taipei · Tokyo · Toronto

クインテグラル株式会社 会社概要

1923

AMA (American Management Association)
ビジネスリーダーが意見交換を行う場としてニューヨークに創設
世界大恐慌の折、米国政府はこの大恐慌への対策についてAMAに助言を依頼



1950

「AMAマネジメントコース」開始。
景気後退期に「Economic Mobilization Conference」をアイゼンハワー大統領、ニクソン副大統領を講演者に開催



1960

ピーター・ドラッカー教授（のちにAMAの終身アドバイザー）がAMAの会員誌に寄稿

1993

AMA日本支社が営業開始

2003

（社）経団連ゲストハウス・フォーラム開始 総合プログラムコーディネーターをAMAが務める

2012

AMA Japan をクインテグラル株式会社へ事業譲渡

2017

ASEAN 6か国でAMAプログラムを提供開始

2024

アルーグループの傘下に入り、さらにグローバル人材育成のサービス強化を目指す



学びたい時に学べる環境を提供

クインテグラル株式会社では年間約200の公開コースを開催しており、1名からの参加、他流試合の場を提供しています



Quintegral
A Member of the AMA Global Network

Public Training Program 2025

世界の「ベストプラクティス」をあなたの会社の「ベストプログラム」に。

ABOUT US

クインテグラルは、世界有数の人材育成組織AMA(American Management Association)ブランドを日本をはじめアジア各国で提供している企業の組織開発・人材育成パートナーです。
“グローバルビジネスで活躍する人材の育成”を目的にAMAが行った市場調査に基づき開発したプログラムを1名様からご参加可能な公開型トレーニングコースとしてご用意しております。
例年ご評価いただいているプログラムをぜひご受講ください。

OUR ADVANTAGE

- グローバルの舞台での活躍を目指したトレーニングプログラム
- 日本で“唯一”AMAブランドプログラム
- グローバル人材を生み出し続けている講師陣

お問い合わせ Pubcourse@quintegral.co.jp
03-6268-9489

お申込はこちら



Public Training Program 2025

Public Training Program 2025
全てのプログラムとスケジュール、費用はこちらからご確認ください



- 変革を通じてチームをリードする**
変化に対する反応を管理し、メンバーを鼓舞し、あらゆる変化への取り組みを通じて最適な生産性を確保できるようなコミュニケーションを可能にする実践的なツールを学びます
- ダイバーシティ & インクルージョン**
多様性と受容を通じた個人・チーム・組織の可能性を最大化することを目指し、自分自身、チーム、組織のあらゆるレベルで、インクルージョン（受容）が生み出すメリットを深く理解します
- ボイス・オブ・リーダーシップ**
「あなたの声（メッセージ）を通して人に影響力を与えること」に焦点を置き、効果的なメッセージを組み立てて伝えるスキル・ツールを学びます
- 職場で役立つ読得スキル**
心理学的なトリガーについて学び、学んだ知識をいかに双方に望ましい成果に結びつけるかを探索し、さまざまなビジネス上の意志疎通のシーンに応用し、影響力を高める方法を学びます
- インターパーソナルコミュニケーション**
自分の役割/役割に関係なく、他者と相互理解を築き、つながりを持つために必要なコミュニケーションスキルと行動特性を向上させることに焦点を当てます
- 人工知能(AI) ビジネスエッセンシャル**
AIが組織やビジネスの世界に与える影響は、すでに計り知れず、そのAIについて理解を深め、すでにどのように活用されているのか、そしてどのようなビジネスチャンスがあるのかを学びます

プログラム、開催スケジュールは予告なく変更となる場合がございます。予め、ご了承ください。

クインテグラル株式会社
〒102-0073 東京都千代田区九段北1丁目13-5 ヒューリック九段ビル2階

お問い合わせ Pubcourse@quintegral.co.jp
03-6268-9489

お申込はこちら



こちらから
詳細をご確認ください



クインテグラル株式会社へ お気軽にお問い合わせください



東京都千代田区九段北
1丁目13-5 ヒューリック九段ビル2階



pr@quintegral.co.jp



03-6268-9489



<https://www.quintegral.co.jp/>

